

きょうされん 2013

第36回全国大会 in 東北・ふくしま



●ユーストリーム配信！

きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしまの大会の模様を

インターネット動画 LIVE 配信サービス

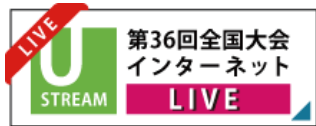
「USTREAM」でご覧いただけます。

ユーストリーム

<http://www.ustream.tv/channel/kyosaren-zenkokutakai-2013>

ツイッター

[@2013_fukushima](http://twitter.com/2013_fukushima)



番組配信スケジュール

2013年9月21日(土曜日)

13:00～14:40 オープニングセレモニー、開会

14:50～17:25 特別講演

2013年9月22日(日曜日)

09:00～12:00 利用者フォーラム 「つながる」

13:00～14:50 一般公開特別シンポジウム

●オール東北が、「お・も・て・な・し」



福島で開催される全国大会ですが、東北のなかまが力を合わせて運営します。販売は秋田、交流会は宮城、利用者フォーラムは岩手、分科会は青森が担当します。

ありがとう日本、ありがとうみんな



全国の皆さん、ようこそ福島へ！

いよいよ、きょうされん全国大会 2013 がスタートしました。今年は、福島の郡山市磐梯熱海にある郡山ユラックス熱海を会場に、全国から約 2,400 名のなかまが集います。福島の地で、東北の各県の共催で開催されます。3.11 に起きた大震災と原発事故。つらいことがあっても、負けないで前に進んできた岩手、宮城、福島と東北のなかまが、全国のみんなにメッセージを伝えます。

●WELCOME ふくしま①

全国から来てくれた皆さん、
本当にありがとう。



きょうされん
福島支部長
和田 庄司

「きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま」が、まもなく開催されます。2011.3.11. あの日震災と津波、原発事故のあと、きょうされんの仲間の「小規模魂」が、私たちに勇気と力と安心を運んでくれました。のべ 6,300 人をこえる被災地への職員派遣、全国で開催された被災地応援物産展、そして支援募金。本当に感謝です。

小さな東北の支部が不自由をおかけすることを重々承知で、この特別な全国大会を開催することを決めたあとも、みなさんの応援による大会協賛、次々と届く参加申込みなど、全国のみなさまの暖かな気持ちが、本日の開催へ導いてくれました。

ここから「つたえ つなぎ はじめる」あの日から 2 年 6 ヶ月、東北・ふくしまが新たな一歩を踏み出すために、日本のどこかで大地震がふたたび起きても、障がいのある仲間の命をしっかり守れる国であるために、この大会をみなさまと開催したいと思います。



集まる仲間たち！東北で初めての全国大会、開催される！

この日のために、全国から仲間が駆け付けてくれました。大会マスコットの 3 人のキャラクターが、お客さんを歓迎します。

JR 東日本は、臨時列車を出し、郡山駅から磐梯熱海の駅をつなぎます。郡山市は、古くなった会場の一部を改修し、大会の会場のステージにはスロープを作ってくれました。大会の会場は小さな温泉地にあり、大きな会場ではありませんが、温泉組合の皆さんも、ボランティアとして応援して下さいます。

大会一日目は、郡山ユラックス熱海を会場として、開会全体会が行われます。オープニングセレモニー、基調報告、『鎮魂から復興へ』と進んでいきます。

二日目は、南相馬、いわき、会津への視察観光と各会場に分かれた分科会、利用者フォーラムが行われます。

午後からは、特別企画として一般公開シンポジウム『支えあう・地域・人権、そして未来』が開催されます。

ここから「つたえ つなぎ はじめる」をテーマに。新しい一歩をみんなで考えていく時間にしていきましょう。来てくれた皆さん、ありがとう！



右から、大和田実行委員長、佐藤雄平福島県知事、事務局の川前さん、きょうされん福島支部長の和田さん、そして、ほぐたち 3 人組です。



●復興の祈り “ビッグ幡”

奈良の東大寺に飾られた「BIG 幡」が、福島に里帰りし、会場前に飾られています。この幡は、東日本大震災の被災地域である岩手県、宮城県、福島県の障害のある人たちが「花鳥風月」をテーマに作品から制作したものです。「幡(ばん)」とは、東大寺の重要な法要のときに使われる「旗」で、大仏殿前に建てられます。今回、エイブルアート・ジャパンの協力により展示することができました。ありがとうございます。東日本大震災で被災したなかまによる願が込められた作品です。



●大会キャラクターを描いた たきざわくるみ さん

大会のキャラクターは、南相馬市にある自立研修所 えんどう豆の”たきざわくるみ”さんが描いてくれました。くるみさんは、いつもは、さをり織りの仕事をしていますが、おえかきが好きで、南相馬ファクトリーのバッジやTシャツのデザインを担当しています。クリアファイルも「福の市」で発売中！AKB48 が好きで、ヘビーローテーションの曲に合わせて、ダンスをするのが十八番です。皆さんにも、見せてあげたいなあ。元気いっぱいくるみさんを、応援してくださいね。

●ふくしま豆知識①

福島県は、太平洋に面している「浜通り」と、阿武隈川に沿って平地が広がる「中通り」、山側の「会津」地方に、分かれています。それぞれの地域に、それぞれの文化があります。浜通りは、相馬、双葉、いわき地方があり、夏は過ごしやすく、冬も雪はあまり降りません。中通りは、阿武隈山地と奥羽山脈の間の平地に、福島市や郡山市などがあり、桃やリンゴなど、くだものの産地として有名です。会津は、磐梯山のふもとの盆地で、雪国であり、米どころで、おいしい酒があります。江戸時代、戊辰戦争では、戦場となり、今年の NHK の大河ドラマ「八重の桜」の舞台です。福島には、現在 40 か所のきょうされん加盟の福祉事業所があります。



福島の名物
ちょっと紹介 (1)

起き上がり小法師

福島県会津地方に古くから伝わる縁起物・郷土玩具の一つであり、起姫(おきひめ)ともいう起き上がり小法師は、震災と原発事故に負けない福島のシンボルとして、多くの人に愛されています。大きさはいろいろあって、お土産にいかがですか？ さて、開催地の磐梯熱海ですが、海がないのに、なぜ熱海なの？ それは、

時代、源頼朝の奥州征伐で、この土地の領主になった伊東氏が、生まれ育った伊豆の熱海をしのび、熱海と名付けられたそうです。

＜特別協賛＞

今回、「ここから つたえ・つなぎ・はじめる」タイムスは、福島ゼロックスさんの協力により、2 日間で、約 10,000 部を発行します。心から感謝申し上げます。

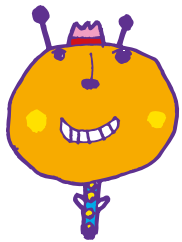


富士ゼロックス福島株式会社

会場のご案内

みなさん、こんにちは！ ハマーっす！

みんな、遠い所から、来てくれてありがとう！会場案内をするので、よろしくね。

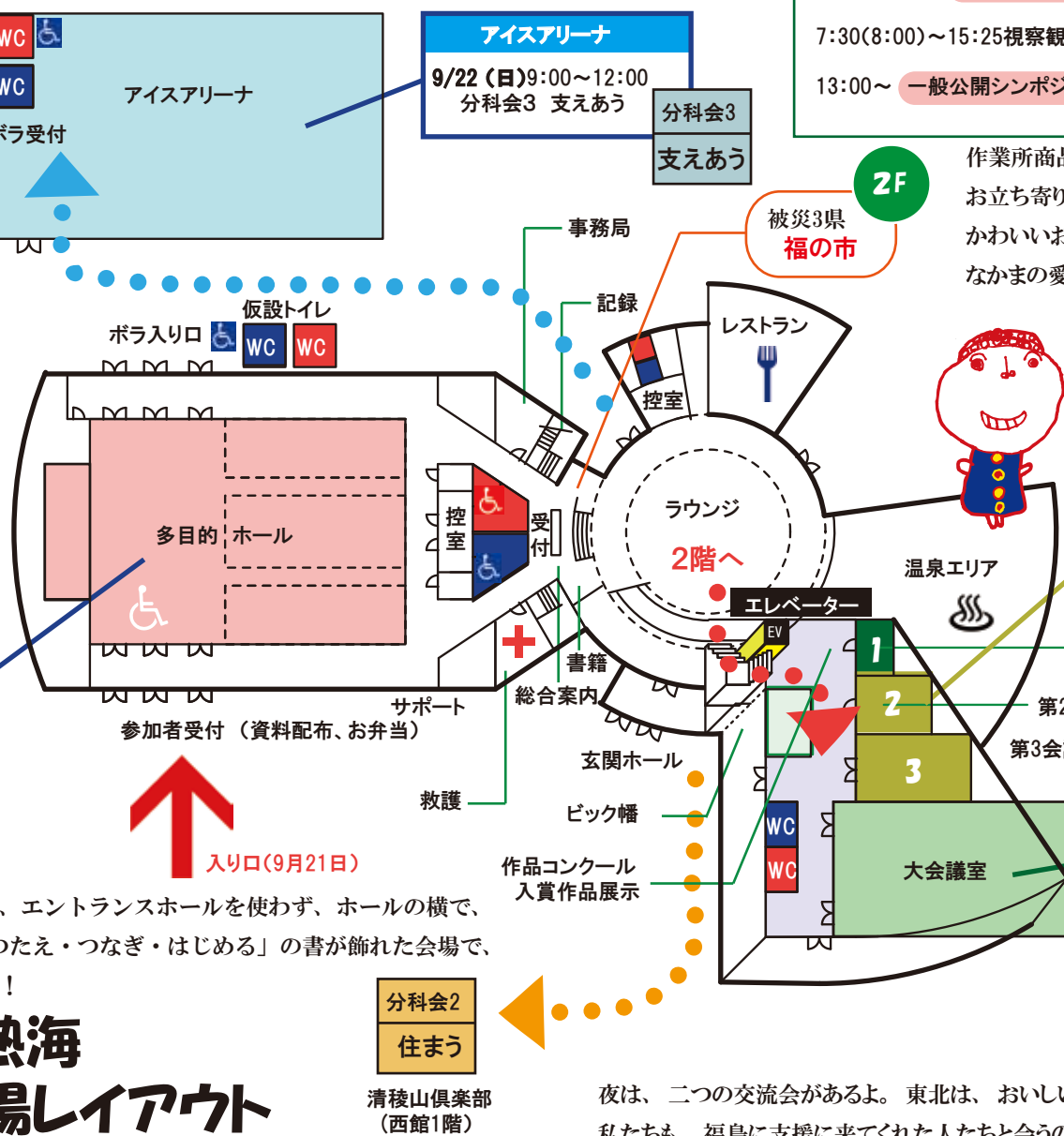


メイン会場は、多目的ホール。
みんなで語り考え、盛り上がるぞ！今年は、いっぱい伝えたいことがあるんだ！

多目的 ホール	
9/21(土)	13:00～開会全体会 「鎮魂から復興へ」
9/22日(日)	9:00～12:00 利用者フォーラム 13:00～ 一般公開シンポジウム

たくさんのなかまが集まるので、エントランスホールを使わず、ホールの横で、受付を行います。「ここから、つたえ・つなぎ・はじめる」の書が飾れた会場で、私たちのメッセージを伝えます！

ユラックス熱海 会場レイアウト



分科会2
住まう

清稜山倶楽部
(西館1階)

主な行事

9/21(土)	13:00～開会「鎮魂から復興へ」
9/22日(日)	9:00～12:00 利用者フォーラム 分科会1(働く) 分科会2(住まう) 分科会3(支えあう)
	7:30(8:00)～15:25視察観光く会津Aコース・会津Bコース・いわきコース・南相馬コース
	13:00～一般公開シンポジウム

作業所商品販売コーナー「被災3県 福の市」にお立ち寄りください 東北の各地のいいくて、かわいいおみやげがたくさん、あるよ！なかまの愛情が詰まってるよ。

第2～第3会議室

9/21(土)	12:00～レストルーム
9/22日(日)	9:00～レストルーム

お昼ごはんを食べて、開会するので、多目的ホール、第1、第2会議室で、お弁当を食べて下さいね。

大会議室

9/21(土)	※使用できません。
9/22日(日)	9:00～12:00 分科会3 働く

分科会1
働く

夜は、二つの交流会があるよ。東北は、おいしいお酒がたくさん、あるから、何がでてるかしら？ 私たちも、福島に支援に来てくれた人たちと会うのを、楽しみにしています！

みんなで手作り、きょうされんバック



ナカマン@福島です。
きょうされんのバック、
味があって、
いいんでないかい！



皆さんにお配りした資料が入っているバックをご覧ください。個性的でとても素敵な絵が描かれていますよね！この絵は、きょうされん全国大会のために南相馬ファクトリーのえんどう豆、ふたばの里、ひばりワークセンター、ほっと悠のなかまが、一生懸命そして楽しみながら描いたものです。とても大きな布をキャンパスにして自由奔放に筆を走らせていました。それはまるで一つの作品を見ているようで、バックの大きさに切るのがもったいないくらいでした。



また、絵筆をとれない仲間も、スタンプしました。一つひとつのバックを見比べて、全体の絵を想像してみてください。会場が一つの絵画館になったようですね。縫製は相馬市の、ひまわりの家、南相馬のほっと悠、ひばりワークセンターが担当し、シルク印刷は、あさがおが担当しました。既製品ではなく、オンリーワンのバックは、私たちからの感謝の気持ちの込めた贈り物です。



福島の名物・ちょっと紹介(2)



あかべこ

福島県会津地方の郷土玩具である「あかべこ」。べこは、東北地方の方言で、意味は「赤い牛」ですね。実は会津にあるピーターパンディサービスセンターでは、あかべこを制作しているんですよ。震災後の様子など、お話をしてもらいました。

会津は原発から100キロ以上離れていて、実際、放射線を測定しても低い数値。まさか「会津も危険だ！」と観光客が激減し、鶴ヶ城や野口英世青春通りは、人が行き交うのもまばらになってしまったのには、正直驚き、これから会津はどうなってしまうのだろうか？と呆然と立ちすくんでしまいました。さらに追い打ちをかけたのが観光客の激減で土産物が売れない事、我がピーターパンディサービスセンター就労B型の赤べこ塗り作業も観光客に頼らざるを得ない状況、不安がよぎりました。そして、とどめのカウンターパンチがもう一つ、電子部品の組み立て作業、「会津の電子部品は放射能汚染で使えない」との風評被害。以来、電子部品組立作業はなくなってしまいました。全国みなさんには、正確な情報を！と叫んでも、一度塗られた絵の具はそう簡単には消えてくれませんでした。



会津には大熊町、楢葉町の方々が避難され、仮設住宅で不自由な生活を送られています。その中には障がいを持った方々もおられ、我がピパネットでも大熊町の方が生活介護を利用されています。定期的大熊町を訪問し、「自宅に残した荷物を持ち帰りたいが、持って来れねえんだ～」と悲しそうな表情を浮かべます。ふるさとに戻れない悔しさは、誰にぶつけたらいいのでしょうか？

現在、会津は「八重の桜」効果により観光客は増加しています。特に「大河ドラマ館」周辺は土日ともなると大渋滞で、土曜の送迎は周辺を通行しないようにしている程です。ただし、この賑わいも、今年限りで噂されています。大河ドラマが終了した来年はまた、人通りもまばらな会津に戻ってしまうのでしょうか。会津の幕末史に光があたり、永続的な興味、関心を持続けて行って欲しいと願わずにはおられません。

有限会社 ピパネット

ピーターパンディサービスセンター

〒965-0103

福島県会津若松市真宮新町南4丁目78番

TEL/FAX0242-58-1131

Eメール：pipaday@bz03.plala.or.jp